

# 平成24年度 幼稚園児募集・保育所入所案内

市立幼稚園・保育所の再編を検討しておりますので、ご承知ください。



## 保育所

入所説明会 新しく入所を希望される方は、この説明会にご出席ください。

保育所名	日時	会場
下田保育所 白浜保育所 須崎保育所 大賀茂保育所 柿崎保育所	10月28日(金) 午後1時30分～3時	市民文化会館 大会議室 ※託児あり
稲生沢保育園 ひかり保育園	10月31日(月) 午後1時30分～3時	稲生沢保育園

入所申込受付日程 (会場 中央公民館中会議室)

保育所名	日程	時間
下田保育所 白浜保育所 須崎保育所	11月14日(月)	3日間とも 午前9時～ 午後6時
大賀茂保育所 柿崎保育所	11月15日(火)	
稲生沢保育園 ひかり保育園	11月16日(水)	

- ・在籍児童・新入児童ともに受付を行います。
- ・保育所ごとに受付を区分しましたが、ご都合のつかない方は他の保育所の日程で申込みをしてください。
- ・入所申込書は、教育委員会・各保育所(園)に用意してあります。(10月28日以降)

問合せ先 教育委員会学校教育課 ☎@3929

## 幼稚園

入園説明会 入園に際しての説明会を開催します。会場は各幼稚園です。

園名	日程	時間
下田幼稚園 吉佐美幼稚園	10月24日(月)	午前10時～11時 午後1時～2時
稲梓幼稚園 白浜幼稚園	10月25日(火)	午前10時～11時 午後1時～2時

入園申込受付日

11月9日(水) 午後1時～4時

入園希望の幼稚園に直接提出してください。

※申込用紙は各幼稚園に用意してあります。

募集幼児	対象幼児生年月日
年少(3歳)児	平成20年4月2日～ 平成21年4月1日 生
年少(4歳)児	平成19年4月2日～ 平成20年4月1日 生
年少(5歳)児	平成18年4月2日～ 平成19年4月1日 生

問合せ先 (該当する幼稚園をお願いします)

下田幼稚園 ☎@0363 吉佐美幼稚園 ☎@6683  
白浜幼稚園 ☎@6691 稲梓幼稚園 ☎@0619

# メタボ早期発見 特定健診を追加開催します!



## 健康チェック もう一度のチャンス!

猛暑が続いた今年の夏、健診を受け忘れてしまったり、仕事の都合で受けることができなかった方に朗報です。特定健診を追加開催します!

心臓病や脳疾患などの重大な病気は身体の異常を感じてからでは遅い場合が多いと言われます。また、毎日健康的な生活を送っている方も年に1度の健康診断は非常に重要です。自分が今、どんな健康状態なのか、どのような位置にいるのかなどを把握することで健康づくりの励みにも役立てます。ぜひこの機会に自分の健康チェックをしてみたいはいかがですか?

## 今回は全て予約制です!

必ず事前に電話予約をお願いします。ご希望の日の1週間前までにお電話ください。

**対象者** 40歳以上で国民健康保険、もしくは後期高齢者医療制度の保険に加入している方

**注意** すでに今年健診を受けた方は受けることが出来ません。4月に皆様に送った受診券や尿容器を無くしてしまっても大丈夫です。再発行いたします。

**料金** 国民健康保険 1,000円  
後期高齢者医療制度 500円

## 追加健診日程表

実施日	時間	健診会場
10月27日(木)	午後1時～ 3時	道の駅開国下田みなと 下田市外ヶ岡1-1
10月28日(金)		
10月31日(月)		
11月24日(木)		
11月25日(金)		
11月28日(月)	賀茂医師会館 下田市西本郷2-9-5	
11月29日(火)		
11月30日(水)		
12月7日(水)		
12月8日(木)		

## みんなで一緒に健康づくり(特定保健指導)

生活習慣病は生活習慣を改善することで予防、改善のできる病気です。不規則な生活の継続は肥満や高血圧の原因となり、ひいては重症化して大病を引き起こしてしまいます。

市では健診結果が思わしくなかった方の為に様々な生活改善メニューをご用意しています。対象者の方にはこれから通知しますので、ぜひご参加ください!

身体の異常が見つかったということは、逆に言えば改善点がはっきりと発見されたことだといえます。目標ができればみんなゴールを目指しやすいですね!

# 埋もれ火を訪ねて

地域に業績を残した下田の人々

下田には、まだ知られていない先人達とその業績が人知れず埋もれています。今月号から5回に分け、その先人達のエピソードを紹介します。

## 悲願の下田街道と矢田部強一郎



矢田部 強一郎

天城峠は、川端康成の「伊豆の踊子」の舞台であり、また石川さゆりの「天城越え」は年齢を問わず、多くの人に唄われています。天城路は、今こそ華やかな舞台として世間に知られていますが、かつては、南伊豆と北伊豆をつなぐ唯一の「けもの道」でした。そのような中「これからは陸上輸送の時代だ」と陸の孤島であった南伊豆を救うべく努力したのが、矢田部強一郎でした。矢田部は、嘉永6年(1854)に稲生沢村河内志戸に生まれ、青年期には明治初期の文

学者中村正直の塾生として、一意識に励みました。やがて、下田に帰郷すると近隣の子女の教育や短期間で現金収入になる養蚕を農家に広めました。明治23年(1890)県議会議員に初当選し、「けもの道」の天城峠を徒歩で沼津まで通いました。南伊豆の発展は自動車道路の開通しかない。と地域住民の期待を一身に受け、何度となく下田街道改良の建議書を県議会に提出するも否決され続けていました。明治25年、県議会で矢田部は、下田街道改良論を長時間にわたり論じました。そして「もし下田街道改良工事に反対する議員があるなら、本職はこの場で刺し違えて死ぬ覚悟である。」と懐中から短刀を取り出し、演壇に突き立て宣言しました。結果、他の議員は一言も発せず下田街道改良の建議書は議会通过しました。その後、矢田部は県議会副議長を最後に政界から引退し、大正11年(1922)10月1日に逝去されました。



## 消防団の魅力

消防団とは本業を持ちながら「自分たちのまちは自分たちで守る」という郷土愛に基づき、地域の消防・防災の中核としての重要な役割を果たしている地域に密着した消防組織です。

9月11日に静岡県消防学校にて行われた第33回静岡県消防操法大会は、消防団員が日ごろの訓練の成果を発揮し、消防操法技術の向上と土気高揚を図ることに、地域防災体制の強化に役立てることを主旨としています。

私は、消防団事務局の担当者として、選手や団員が丸となり、本業のかたわら寸暇を惜しんで訓練を行っている様子や地域の祭典への参加のため訓練が思うように行えず苦悩している姿を何度も目撃してきて、団員の消防に対する強い使命感と地域に対する熱い思いを感じました。また、操法大会後ある選手から、

「何もかも中途半端だった自



(市民課 濱口 剛)

分が、この大会をやり遂げ、自分に自信が持てるようになりました。自分を成長させてくれた消防団の良さを多くの人に伝えていきたいです。」という言葉聞き、消防団は地域の消防・防災としての役割だけでなく、地域の若者を育てる役割も担っていることを強く感じました。今回の操法大会で私は、消防団の地域における重要さを痛感しました。この思いを忘れることなく、消防団の活性化のため、市として何ができるのかをもう一度見直し、安全で災害に強いまちづくりのため地域と消防団が今以上に連携しやすい環境を目指し頑張りたいと思います。最後に今月号の特集でも掲載してもらいましたが、消防団では地域の若い力を募集しています。少しでも消防団に興味を持たれたり、質問等ありましたらご遠慮なくご連絡ください。